

独立行政法人 国際協力機構が発行する
『JICA債』への投資について

令和2年12月25日
岐阜県本巣市

本巣市は、基金運用の一環として、さらに資金運用を通じた社会貢献への取り組みとして、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が発行する「JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンド」への投資を実施いたしました。

JICA は、日本政府の定めた開発協力大綱に則って ODA（政府開発援助）を実施する世界最大の二国間援助実施機関です。JICA が発行する債券への投資資金は有償資金協力事業に充当され、開発途上地域の経済・社会の開発、日本及び国際社会の健全な発展のために活用されます。また、これら事業は国連の定める持続可能な開発目標（SDGs）の実現に貢献しています。

「JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンド」の発行により調達された資金は、開発途上国における新型コロナウイルスを含む感染症対策（保健医療システムの整備、水・公衆衛生環境の改善）及び新型コロナウイルス感染拡大により経済的影響を受けた開発途上国の中小企業等向けの金融支援を目的とする有償資金協力事業に充当される予定です。

本巣市は、「日本一住み良いまち」を目指し、持続可能で成長し続けるまちづくりの実現に向けて取り組んでいるところです。

本巣市が投資した資金は、開発途上国における新型コロナ対策のために使われる資金であり、JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンドの理念に共感し投資を行うことにしました。

今後も本巣市はその公共性・公益性に鑑み持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしていきたいと考えています。